

こまった こまった どうしよう…

〈こだわりがつよい〉

★こだわりがつよって？

- いろんなものを並べる
- 文字やマークが好き
- 自分なりの決まりごとがある
(例えば、道順はいつも同じじゃないとイヤがる)
- 毎日のスケジュールが変更できない
(例えば、雨の日でも公園に行かないと気がすまない)



★こどもはどう感じている？

- 興味があるから、とても楽しい！！大好き！！
- いつもどおりだと安心！！
- 次に起こることがわからないから、不安・・・
- わかっているけど、止まれない、気が済まない・・・
(例えば、開いているドアを見つけたら必ず閉める)

ムリに止められたときのこどもの気持ちは…



なんでだめなの？
どうしていいか、わかんないよー

でもね！

こだわりはわるいことではありません

★どうしたらいいの？

○見方を変えてみよう！

- こだわられるくらい好きなことは、得意分野として、仕事や仲間づくりに活かされるかもしれません。
- やめたくてもやめられずに困っているこだわりは、時間をかけて減らす工夫をしてみましょう。

○対応のコツ

①こどもの興味につきあう。大人の許容範囲を広げる。

〈なぜかというところ〉

- 今の興味に満足すると、次の興味に広がる。
- 気持ちを分かってもらえると、安心する。



②こどもの気持ちに余裕が出てくるのを待つ。

〈こどもに余裕がでてきたサイン〉

- 言い聞かせに納得ができるなど、理解が増えた。
- 少しなら待てるなど、活動の見通しが持てるようになった。
- まねが増えるなど、人のかかわりを期待するようになった。

③こどもがこだわり以外に興味に向くように、具体的に知らせる。

- 「ほかにも〇〇があるよ」と代替りの物を見せる。
- 「△△をやってみようよ」と一緒に取り組むことへ誘う。
- 「今は〇〇するよ」と今やることを伝える。
- 「次は～～するよ」と予定を伝える。
- 「時計の長い針が△△になったらおしまい」と終わりを伝える。

気持ちのコントロールが上手になると、こだわりは少しずつ変わります。